

指定管理者評価票（平成30年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町福祉作業所「さくら」

担当部課係：福祉部 福祉課 障がい係

1 指定管理者の名称	社会福祉法人 あかつきコロニー
2 指定管理の期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで 5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	一般企業での就労が困難な在宅の身体・知的障がい者（児）の方に就労の場を提供し、自立や社会参加を支援することを目的とする。
4 指定管理の業務内容	1 福祉作業所の運営に関すること。 2 施設及び設備の維持管理に関すること。
5 施設の概要	<p>身体・知的障がい者に対し、必要な指導及び訓練を行ない、社会参加及び自立並びに社会経済活動への参加の促進を図るサービスを提供する。</p> <p>(1)施設及びサービスの内容</p> <p>(2)規模 敷地面積 1,167.15 m² 建築面積 339.10 m² 構造 木造平屋建て</p> <p>(3)設備内容 作業室・事務室・休憩室・シャワー室・トイレ・更衣室・玄関・給湯室・物入・脱衣室・相談室・静養室・だれでもトイレ ホール・倉庫・面談室</p> <p>(4)設置年月及び経過年数（導入時） 平成22年1月 （導入後9年経過）</p> <p>(5)建設費用 77,490,000 円</p> <p>(6)大規模改修の経緯と費用 該当なし</p> <p>(7)維持補修・改修の予定及び時期 非常通報装置設置、防犯カメラ設置 平成29年度</p>
6 指定管理における具体的な目標	
(1)利用者へのサービス水準の向上目標	利用者の状態や障害特性に特化したプログラムの設定を行なうことにより、作業能力の向上を図ることを目的としている。また、生活全般への支援も行き、社会生活能力の向上に努める。
(2)運営の効率化に関する目標	運営委員会を定期的開催し、運営方法等について検討を行い、効率化を図る。
(3)施設維持管理費に関する削減目標	事業計画及び予算に基づき、適切な管理を行い、管理費の削減に努める。
(4)その他の目標	地域交流事業を通して、施設の事業および障がい者への理解の向上を目指す。
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	個別性を考慮した支援プログラムの導入について、問題行動の減少、作業への意欲向上、生活内容の改善等が図られたという意見が得られている。

指定管理評価票（平成30年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町福祉作業所「さくら」

担当部課係： 福祉部 福祉課 障がい係

業務評価指標

		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
協定書・仕様書で示した事項	生活指導、作業訓練等の社会適応訓練に関する業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
	施設、整備等の維持管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	243	243	243	244	244		日
	実開館日数	240	240	240	241	241		日
維持管理状態	受付対応人員（常駐）	1	1	1	1	1		
	日常清掃	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施		
職員数の確保及び適切な配置		管理者1名、サービス管理責任者1名ほか利用者7.5人に対して常勤職員1名以上を配置	管理者1名、サービス管理責任者1名ほか利用者7.5人に対して常勤職員1名以上を配置	管理者1名、サービス管理責任者1名ほか利用者7.5人に対して常勤職員1名以上を配置	管理者1名、サービス管理責任者1名ほか利用者7.5人に対して常勤職員1名以上を配置	管理者1名、サービス管理責任者1名ほか利用者7.5人に対して常勤職員1名以上を配置		

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）

	前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）	8,721,000	8,121,000	8,121,000	8,721,000	8,121,000		円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額	0	0	0	0	0		円
職員の投入実態	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000		時間*人/週
物品の提供実態	0	256,608	218,160	0	17,820		円
インプット指標合計	8,826,000	8,482,608	8,444,160	8,826,000	8,243,820		
提供物品の名称と数量：		プレハブ物置	AED自動体外式除細動器		AED用バッテリー		

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）

		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
施設延べ利用者数		5,681	6,573	6,790	6,617	6,462		人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者	27	30	30	29	30		人/年間
	町外在住者	0	0	0	0	0		人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	貸出日数	240	243	243	244	244		日/年
	稼働日数	240	240	240	241	241		日/年
	稼働率	100%	99%	99%	99%	99%		
利用料収入		43,665,207	51,702,953	54,006,005	53,635,098	50,671,487		円
その他収入	事務所家賃 *1	0	0	0	0	0		円
	事務所光熱水費 *1	0	0	0	0	0		円
	その他収入	2,651	7,640	205	168	190		円
	計	2,651	7,640	205	168	190		円

*1 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		8,721,000	8,121,000	8,121,000	8,721,000	8,121,000		円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		105,000	361,608	323,160	105,000	122,820		円
利用料収入		43,665,207	51,702,953	54,006,005	53,635,098	50,671,487		円
その他収入		2,651	7,640	205	168	190		円
収入の部 合計	算定	52,493,858	60,193,201	62,450,370	62,461,266	58,915,497		円
	実収入	52,388,858	59,831,593	62,127,210	62,356,266	58,792,677		円

支出の部		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
人件費		34,265,908	38,773,848	43,254,432	46,700,069	41,292,339		円
事務費		5,074,548	4,968,313	4,505,878	5,307,073	2,847,649		円
事業費		3,435,450	3,821,863	4,350,904	4,051,025	5,590,964		円
その他		1,200,000	1,400,000	2,000,000	0	2,130,000		円
就労支援事業支出		0	5,945,554	6,051,461	6,566,239	6,500,891		円
支出の部 合計		43,975,906	54,909,578	60,162,675	62,624,406	58,361,843		円

収支差引	算定	8,517,952	5,283,623	2,287,695	-163,140	553,654		円
	実収支	8,412,952	4,922,015	1,964,535	-268,140	430,834		円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

コスト削減に対する取組み	前指定末 (H26)	空調の温度設定管理と、照明の不要なときのこまめな消灯を心がけ、最低限必要な個所のみ使用し、無理のない削減を実施した。
	H27	消耗品等は量販店で安く購入するよう心がけた。室内の温度設定について、温度計を設置して適切な温度設定を意識して実施した。機関誌や発送物に対しての発送の工夫や研修・学習会での移動費についても公共交通機関の使用および団体での移動工夫で経費削減を実施した。
	H28	消耗品等は管理者が在庫管理の徹底を行い、必要な物のみ購入しコスト削減を心がけた。室内の温度設定について、温度計を設置して適切な温度設定を意識して実施した。電気の照明は、間引き利用を実施、また、使用していない所の電気は消す等、コスト削減を心がけた。
	H29	消耗品等は管理者が在庫管理の徹底を行い、必要な物のみ購入しコスト削減を心がけた。室内の温度設定について、温度計を設置して適切な温度設定を意識して実施した。電気の照明は、間引き利用を実施、また、使用していない所の電気はこまめに消灯したり、低コストのリース機器に変更するなど、コスト削減を心がけた。
	H30	消耗品等は管理者が在庫管理の徹底を行い、必要な物のみ購入しコスト削減を心がけた。室内の温度設定について、温度計を設置して適切な温度設定を意識して実施した。電気の照明は、間引き利用を実施、また、使用していない電気はこまめに消灯したり、低料金のインターネット契約への見直しや低コストリース機器への変更、必要な紙以外はプリントアウトしないなど、コスト削減を心がけた。

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

利用者の利便性改善	前指定末 (H26)	個々の利用者適性に合った支援計画を作成し、利用者ケース評価会議を随時実施し、職員全体での情報共有を行っている。	
	H27	個々の利用者適性に合った支援計画を作成し、利用者ケース評価会議を随時実施し、職員全体での情報共有を行っている。また作業室の整理整頓に努めるとともに、耐震強化のためロッカーに突っ張り棒をした。	
	H28	日々の利用者の状態については、朝夕の職員ミーティングを実施し、より良い利用者支援を心がけた。利用者の男女更衣室にエアコンを設置し、快適な生活空間を提供することに努めた。作業室の整理整頓に努めるとともに、耐震強化のためロッカーに突っ張り棒をし、施設内の事故防止を講じた。	
	H29	日々の利用者の状態については、朝夕の職員ミーティングを実施し、より良い利用者支援を心がけた。作業室の整理整頓に努めるとともに、一時的に体調を崩した利用者のために更衣室に横になれるスペースを設けた。	
	H30	日々の利用者の状態については、朝夕の職員ミーティングを実施し、より良い利用者支援を心がけた。作業室の整理整頓に努めるとともに、サービス利用時に必要不可欠なサービス等利用計画を立案できる態勢を用意している。	
プログラム等質の改善	前指定末 (H26)	利用者支援マニュアル、障害者虐待防止マニュアル、緊急対応マニュアル、BCP等法人の総合力を生かし、マニュアルを整備し、業務の標準化を行っている。	
	H27	利用者支援マニュアル、障害者虐待防止マニュアル、緊急対応マニュアル、BCP等法人の総合力を生かし、マニュアルを整備し、業務の標準化を行っている。また、作業能力に応じた作業の割り振りを適時行う利用者が持つ能力を引き出す支援を行っている。	
	H28	障がい重い利用者でも、箱折り作業以外で出来る作業を探求努力をしてきた。今回、機材、道具を工夫することで、障がい重い利用者でも、出来る仕事（機械部品組立作業）を導入した。利用者が持つ能力を引き出す支援、そして、利用者ご本人の工賃アップを考えながら進めてきた。	
	H29	障がい重い利用者でも、箱折り作業以外で出来る作業を導入した結果、利用者の作業意欲が高まった。（利用者のご意見あり）、そして、利用者の工賃アップにつながった。	
	H30	新規作業（自動車部品組立）を導入して施設内作業の種類を増やし、個々の利用者の障がい特性に合わせた作業の提供を行った。行事に利用者の意見を反映するなど利用者主体で行事内容も決定した。また、個別面談実施の際は新たなインテークシートを導入し生活面や日中活動面の状態把握に努めた。	
利用者の満足度 (アンケート等客観的 もの)	前指定末 (H26)	今年度実施した第三者評価での利用者との契約時における工賃の支払に関する重要事項説明では、8割以上の利用者が説明内容に十分納得しているとの高い認知度を示す結果が出ている。	
	H27	平成26年度の第三者評価（利用者アンケート）結果で指摘された施設での説明不足の点について、個別面談等で説明・補足を実施したことで解りやすく改善されてきている。また余暇活動を増やしたことは利用者からは好評だった。	
	H28	今までさくらで経験したことのない行事等（社会生活技能訓練、観劇会）を増やしたことは利用者からはとても好評だった。また、保護者会においても、新しい行事が増えたことについてはとても良いとの意見があった。	
	H29	平成29年度実施した第三者評価機関による利用者調査で、総合的な満足度は、「大変満足」14人(48.7%)と「満足」9人(31.0%)の合計が、79.7%であった。	
	H30	平成29年度実施した第三者評価機関による利用者調査で、総合的な満足度は、「大変満足」14人(48.7%)と「満足」9人(31.0%)の合計が、79.7%であった。その他、年1回、利用者、保護者と面談し施設への様々の希望や要望の聞き取りも行っている。	
安全管理等 ※平成24年度より追加	前指定末 (H26)	事故・苦情対応	迅速に対応する体制をとっている。
		事故防止策	リスクマネジメント会議を毎月実施
		避難訓練等	地震避難訓練年1回、火災避難訓練年1回
	H27	事故・苦情対応	迅速に対応する体制をとっている。
		事故防止策	リスクマネジメント会議を毎月実施
		避難訓練等	地震避難訓練年1回、火災避難訓練年1回
	H28	事故・苦情対応	迅速に対応する体制をとっている。
		事故防止策	リスクマネジメント会議を毎月実施
		避難訓練等	地震避難訓練年3回
	H29	事故・苦情対応	迅速に対応する体制をとっている。
		事故防止策	リスクマネジメント会議を毎月実施
		避難訓練等	地震避難訓練年5回
H30	事故・苦情対応	迅速に対応する体制をとっている。	
	事故防止策	リスクマネジメント会議を毎月実施	
	避難訓練等	地震避難訓練年5回、町主催防犯講習会参加	

その他

		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
建設経費（元利返還費用）	建設費	77,490,000	77,490,000	77,490,000	77,490,000	77,490,000		円
	償還利息	0	0	0	0	0		円
利用者1人あたりの経費 （指定管理料等及び指定管理料等+建設経費）	利用者数	5,681	6,573	6,790	6,617	6,462		人/年間
	管理経費または指定管理料等	8,826,000	8,482,608	8,444,160	8,826,000	8,243,820		円
	管理経費または指定管理料等/人	1,554	1,291	1,244	1,334	1,276		円/人
	（管理経費または指定管理料+建設費）/人	15,194	13,080	12,656	13,045	13,267		円/人
修繕費 （協定に基づく指定管理者負担上限額：20万円/年）	指定管理者が行った修繕	件数	0	0	0	0	2	件
		金額	0	0	0	0	72,608	円
	内容				0	自動車修理、 トイレ自動水洗 修理		
※H29年度分より項目追加	町が行った修繕	件数	0	0	0	2	0	件
		金額	0	0	0	1,020,654	0	円
		内容				非常通報装置設置 防犯カメラ設置		
立ち入り検査状況								
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、法定外と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	自動ドア（法定外）	2	2	2	2	2		
	消防法設備点検（法定年2回）	2	2	2	2	2		
	冷暖房設備（法定1回）	2	2	2	2	2		

総括

		H27	H28	H29	H30	H31	
経費比較 （指定前と指定後） ※行政資源（指定管理料等・町職員人件費・物品提供金額）の投入実態を比較 「実経費」では指定管理料等のみを比較	算定	指定後	8,482,608	8,444,160	8,826,000	8,243,820	円
		前指定末（H26）	8,826,000	8,826,000	8,826,000	8,826,000	円
		比較	-343,392	-381,840	0	-582,180	円
	実経費	指定後	8,121,000	8,121,000	8,721,000	8,121,000	円
		前指定末（H26）	8,721,000	8,721,000	8,721,000	8,721,000	円
		比較	-600,000	-600,000	0	-600,000	円
評価	平成27年度（1年度目）						
1次評価 担当課	当施設横の町民農園のトイレ清掃を町から受託し年間50回の作業を実施。畜場とその周辺美化清掃なども行うなど地域に根差した事業も展開し、町の負託に応える運営に努めている。27年度は新たに緩衝材会社からの仕事を受注するなど売上を伸ばしている。また、利用者主体の利用者会議を随時行い、利用者一人ひとりの意向に丁寧に向き合った支援を行っている。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 施設の就労支援事業として、新たな仕事を受注し収入を伸ばしている。また、利用者一人ひとりの状況や意向に引き合った丁寧な支援を行っている。 【主な指摘】 適正な施設運営のための積極的な取組と、利用者の方々の視点に立った事業運営を望む。引き続き地域に根ざした事業の展開を期待する。						
評価	平成28年度（2年度目）						
1次評価 担当課	当施設横の町民農園のトイレ清掃を町から受託し年間50回の作業を実施。畜場とその周辺美化清掃なども行うなど地域に根差した事業も展開し、町の負託に応える運営に努めている。28年度は4月から新たに自動車部品組立会社から、また、2月には機械部品組立会社からの仕事を受注するなど障害の特性に合わせた多様な作業内容の充実に努めている。また、利用者主体の利用者会議を随時行い、利用者一人ひとりの意向に丁寧に向き合った支援を行っている。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 町からの委託事業に併せ、新たな仕事を受注するなど障がいの特性に合わせた多様な作業内容の充実に努めている。また、利用者主体の利用者会議を随時行い、利用者一人一人の意向に丁寧に引き合った支援を行っている。 【主な指摘】 施設視察でも利用者が楽しく作業している様子が感じられた。利用者の方々の視点に立った個別支援と、地域に根差した事業の展開を期待する。						

評価	平成29年度（3年度目）
1次評価 担当課	当施設横の町民農園のトイレ清掃を町から受託し年間50回の作業を実施。斎場とその周辺美化清掃なども行うなど地域に根差した事業も展開し、町の負託に応える運営に努めている。また、29年度からは若草公園の清掃も町から受託し、週1回程度で清掃を行っている。また、利用者主体の利用者会議を随時行い、利用者一人ひとりの意向に丁寧に引き合わせた支援を行っている。
2次評価 指定管理者選定委員会	<p>【主な効果】 民間企業から仕事を受注し、及び町民農園トイレ清掃等の公共施設の清掃を町から受託する等、地域に根差した事業展開と運営に努めている。また、利用者主体の利用者会議を随時行い、利用者一人一人の意向に丁寧に引き合わせた支援を行っている。</p> <p>【主な指摘】 工賃アップに対する取組や利用者の利便性、及び衛生管理面での改善が図られている。引き続き利用者の作業意欲の向上と適正な施設運営を希望する。</p>
評価	平成30年度（4年度目）
1次評価 担当課	当施設横の町民農園のトイレ清掃を町から受託し年間50回の作業を実施。斎場とその周辺美化清掃なども行うなど地域に根差した事業も展開し、町の負託に応える運営に努めている。また、一般就労への移行者を出すなど、障害者就労支援センターとも連携し、能力に応じた支援も実施している。個別面談で利用者の状態把握を行う新たなインタークシートを導入するなど、利用者一人ひとりの意向に丁寧に引き合わせた支援を行っている。
2次評価 指定管理者選定委員会	<p>【主な効果】 民間企業からの仕事の受注や、町民農園トイレ、斎場周辺等公共施設清掃を町から受託し、地域に根差した事業展開と運営に努めています。個別面談では利用者の状態把握を行う新たなインタークシートを導入するなど、利用者一人ひとりの意向に丁寧に引き合わせた支援を行っています。</p> <p>【主な指摘】 利用者、保護者との面談での意見や要望と新たなインタークシートを活用し、満足度、サービスの向上と、引き続き、利用者の自立に向けた支援の充実と適正な施設運営を希望します。</p>